

水道だより

平成24年（2012年）2月1日発行

◎発行 向日市上下水道部

京都府向日市上植野町久我田17-1

◎電話 075-931-1111（代表）

水道ビジョン
特集号

水道ビジョン策定

安全で安定した水供給のため

本市の水道事業は、昭和26年9月に給水を開始し、今日まで60年間にわたり、市民の皆様へ水をお届けするとともに、浄水施設や配水施設、応急給水施設などの整備を推進してきました。

また、本市の水源は、かつて、すべて地下水に依存してきましたが、水位の低下や地盤沈下が顕著となったことから、平成12年10月に、京都府営水道の受水を開始し、将来にわたり安定して良質な水の供給が可能になりました。

しかしながら、高度経済成長期に整備した水道施設の多くが老朽化しつつあり、近い将来これらの施設の更新が必要となることや施設の耐震化など、さまざまな課題に直面しています。

そのため、市は、市民の皆様へ今後も安心・安全で良質な水を安定供給していくため、向日市水道事業の将来像と目標を描いた「向日市水道ビジョン」を策定しましたのでその概要をお知らせします。なお、同ビジョンは市の情報公開コーナーや向日市ホームページで見られます。

水道事業の
将来像

計画期間 平成23年度から32年度まで

基本理念

安全で安定した水供給を持続できる水道

目標

安心

安全でおいしい水を供給します

安全でおいしい水を供給することは、水道事業の使命です。
本市の水道の水源は、地下水と府営水の二元になっています。地下水の適切な浄水処理をはじめ鉛製給水管の更新や残留塩素濃度のきめ細かな管理などを行い、安心・安全でおいしい水の供給を目指します。

安定

災害時でも安定した水を供給します

平常時の水圧、水量、水質管理だけでなく、地震や渇水などの災害時においても安定した水を供給することが重要です。
そのため、浄水場施設や管路施設については、重要度や優先度を考慮して計画的に更新・耐震化を進めるとともに、災害発生時に備えた危機管理体制の充実を図り、災害時においても安定した水の供給を目指します。

持続

次世代まで水を供給できるよう、運営基盤を強化します

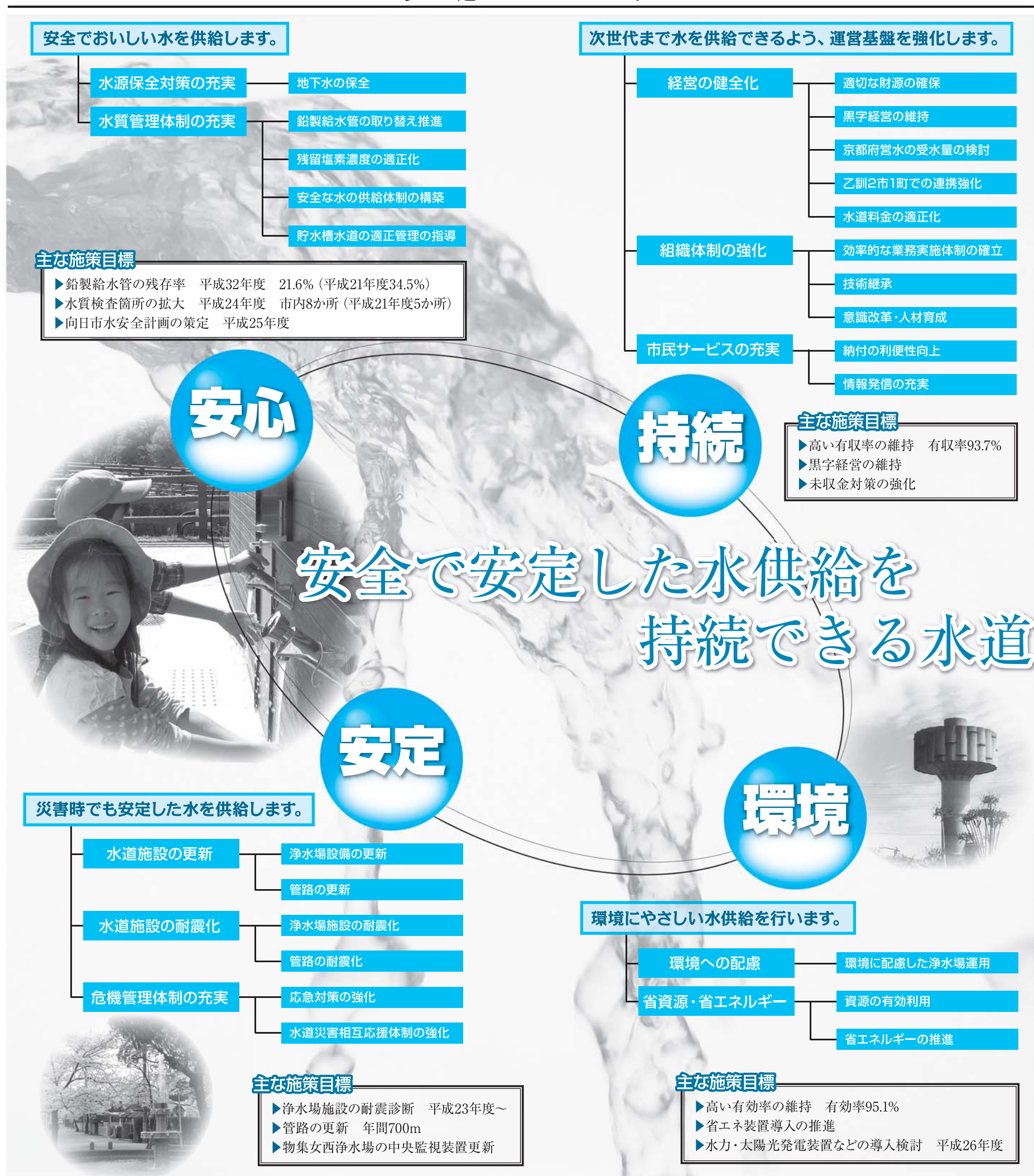
水道事業を持続するためには、今後、発生が見込まれる施設更新を考慮して、計画的な施設整備、財源の確保、さらなる経営改善に努め、運営基盤を強化します。
また、利便性の向上や、分かりやすい情報の発信など、市民サービスの向上を目指します。

環境

環境にやさしい水供給を行います

環境に配慮した経営活動を行うことは、公営企業としての社会的責任であり、水道事業においても、積極的に省資源や省エネルギーなどに取り組むことが重要です。今後は、限りある水資源を守るため有効率の向上、省エネ装置導入の推進など、環境にやさしい水の供給を目指します。





水道事業の現状

水需要量の推移

年間給水量、1人1日平均給水量ともに減少傾向が続いています。なお、平成21年度の年間給水量は、ピークだった平成2年度の7,879千 m^3 と比べ、約23%減少し、6,088千 m^3 となっており、1人1日平均給水量も、平成2年度(410 ℓ)と比べ、約26%減少し、304 ℓ となっています。

本市は、工場や営業所が少なく、水需要量のうち、全体の82%を生活用水が占めています(平成21年度)。そのため、1人1日平均給水量は、他都市に比較して少ない状況にあります。

